

報道関係者各位

共に育つ、わくわく悩む

令和8年2月3日

## 文京学院大学による地域貢献活動 2台ピアノと藍左師の融合公演へ企画協力 人間学部・渡辺行野准教授がピアニストとして登壇、伝統芸術との共演を披露

文京学院大学(学長:福井 勉)は、地域貢献活動の一環として 2026 年 3 月 26 日(木)に、2台ピアノと伝統技術が融合する公演『青の世界』に企画協力をいたします。本公演では、本学の渡辺行野准教授がピアニストとして登壇するほか、地域の子どもたちの芸術を身近に感じ体験できる取組として、市内の小・中・高校に通う生徒50名を対象とした「コンサートモニター」を募集。鑑賞後のレポート作成を通じ、子どもたちの感性を育み芸術を深く理解する機会を創出します。

### 地域社会への貢献と「教育・芸術」の融合

本学は、地域に根差した教育機関として、これまで地元の自治体や文化施設と連携した活動を積極的に行ってまいりました。今回の企画協力は、その一環として、他に類のない公演形式を実現し、音楽と伝統技術/芸術を融合させた独創的体験を地域住民と共有することを目的としています。また、渡辺行野准教授は、音楽教育の研究指導に従事する傍ら、ふじみ野市文化協会の理事、文化振興審議会委員を務めるなど、地域文化の発展に寄与してきました。

### 【公演の見どころ】

- ◆伝統技術×音楽の即興パフォーマンス： 渡辺行野准教授と三宅由利子氏による2台ピアノ(ブラームスソナタ「ピアノ五重奏曲(2台ピアノ版)作品34b」等)の調べに合わせ、日本伝統の藍と現代左官を融合させた藍左師守谷玲太氏による即興パフォーマンスとのコラボレーションを披露いたします。音楽の調べに合わせてキャンバスが藍で染め描かれる、視覚と聴覚が一体となった独創的な「青の世界」を演出します。
- ◆学生コンサートモニターの募集： 次世代を担う子どもたちの感性を育むため、ふじみ野市内の小・中・高校に通う生徒50名を無料招待します(先着順)。
- ◆アート作品の展示：3月23日(月)19時から26日(木)コンサート終演まで、同施設内のギャラリーにて守谷氏の作品展示も併せて行われます。



### 開催概要

イベント名：2台ピアノと藍左師が創り出す『青の世界』

日時：2026年3月26日(木) 18:30 開演(18:00 開場)

会場：ふじみ野ステラ・ウェストホール(埼玉県ふじみ野市大井中央2-1-8)

本学参加者：渡辺 行野(文京学院大学人間学部 准教授)

演奏曲目：ラフマニノフ:組曲 第2番 op.17、ブラームス:ソナタ(2台ピアノ版)～短調 op.34b ほか

販売開始日：2026年2月3日(火)より、ふじみ野ステラ・ウェスト窓口及びオンラインにて販売

販売に関する詳細 URL:<https://p-ticket.jp/fujimino/>

主催：ふじみ野市立文化施設指定管理者 日本環境マネジメント株式会社

### アーティスト 守谷玲太氏 紹介

1982年神奈川県生まれ。独学で始めた左官技法をアートに昇華。ベルギーで特殊な左官技法を習得するため渡欧。帰国後に日本の伝統的な藍染と独自の左官技法を融合し、以後「藍左師」として活動する。日本を代表するギャラリーでの個展のほか、公共施設での恒久展示も多数。近年では国内外で教育普及や音楽家とのコラボレーションにも積極的に取り組み、アートの新たな可能性を追求している。

株式会社アートモリヤ HP：<https://artmoriya.com/>